



小さな団結を大きな団結に



いま二人の現職と一人の新人の組織内候補を抱えて、自治体議員選挙闘争の真つ最中です。5百数十人の組合員数で三人の組織内候補を擁立し選挙闘争をする労働組合は、全国を見てもほかにはないのではないのでしょうか。選挙闘争の目的は、働く者が主人公の社会をつくるために候補者を議会に送りだすことです。もうひとつの大きな目的は、組織強化です。組織とは労働組合や党はもちろんですが、ありとあらゆる組織、集団、塊です。組織強化は団結づくりであり、それは仲間づくりです。私自身もこれまで選挙闘争に関わるなかで、近所や友人、同僚や家族とそれまで以上の結びつきができました。

そしてかけがえのない存在になった仲間がたくさんできました。

とはいえ限られた期間の選挙闘争だけで、その結びつきや、かけがえのない仲間ができる訳ではありません。労働組合でのたたかいや、職場や親類、地域での関わり等など、自分がいかに意識的に仲間たちに関わってきたかの試金石です。

特にいま重要なのは全国で再構築が進められている「小さな学習会」「身近な学習会」を私たちが数多く組織することです。小さな団結を大きな団結に変え、社会を変える原動力にしていきましょう。

『月刊まなぶ』企画編集委員 吉田 英和 (三好市市職労)